



～川崎保育園～
(毎朝元気に運動をする園児たち)

議会だより や め

No.155 平成29年2月1日

- P 2 **議会報告会を開催しました**
- P 6 **委員会審査**
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問 **11人**の議員が登壇
- P 16 **調査研修を実施しました**

市政に生かします

りました。

執行部につないでいくものに整理し、今後行政区長会、議会ホームページなどでお知らせします。

議員定数は

・議員定数等調査特別委員会の進捗状況は。

議会より

・特別委員会での採決の結果は、22名に賛同するもの5名、26名に賛同するもの3名で、22名とした。

あくまでも中間報告であり、平成29年3月までに結論を出す。
平成29年3月定例議会に提案がなされる。



環境対策は

・10数年前から悪臭に悩まされている。河川・水路の魚が死んでいる。どうにかして欲しい。

議会より

・厚生常任委員会として、県の担当課に出向き、協議をしてきたところである。

現在、企業も県の補助を受けて、建屋・脱臭機の改善に取り組んでいる。

道路の整備を

・河川や道路の整備が遅れている。市・県道が狭く、通勤するのに不便である。早急な道路整備を望む。

・生活道路に暗きよを施すと言っているが、何年もかかっている。高額な建物は、1年もたたずに出来あがる。市民の困りごとが優先ではないか。

議会より

・道路整備は、現場を確認し、危険性、緊急性の高いところから整備している。

議会は、地方自治の本旨実現のため、二元代表制の一翼として、多様な民意を反映しつつ、団意思の決定及び執行機関の監視を行う機能を担い、かつ議会の公平性、透明性を保ち、市民に開かれた議会、ともに歩む議会及び信頼され存在感のある議会を目指すため、議員の政治倫理など全21条からなる「八女市議会基本条例」のもとに議会報告会を開催しています。

第7回 議会報告会を 開催しました

ご意見を

平成22年度から年1回行っている議会報告会も今年が7回目と
いただいたご意見・ご要望等については、議会内で議論するもの、
今回はたくさんのご意見・ご要望等の中から一部を掲載しています。

有害鳥獣 対策は

・イノシシによる農作物の被害が深刻である。八女市もジビエ販売まで取り組んでもらいたい。

議会より

・商工会議所に問題提起し、会議所内でプロジェクトを立ち上げている。継続して提起していきたい。解体、加工等の施設は、八女市単独では難しいので、県で対応してもらおうよう働きかけている。

道路の管理は

・道路愛護、草刈り等の補助金申請は64%とあるが、執行残をもっと活用できないか。補助金上限の5万円を取り除いてもらいたい。

・道路の管理は、地区の役員が除草剤をかけているので、薬剤も日当も必要。対策を立ててもらいたい。

議会より

・道路愛護の問題は、行政区でばらつきがあり、利用者がそれぞれにやっているのが現状、要望は市に伝える。



高齢化対策は

・高齢化率が高い山間部は、人口減少もあり、買い物難民となっている。食料品店は1店で定住も難しい。車がないと、買い物、病院にも行けないので、ふるさとタクシーが不可欠である。

低所得者に対し、タクシー代の補助などをお願いしたい。

議会より

・ふるさとタクシーは300円である。高齢者ドライバーの免許返納時のサービスもある。

補助については、今後の課題であり、市と協議していきたい。

ご参加ありがとうございました

地区名		参加者数
立花	友春	44
	光山	
	北木	
旧八女西部	福島	82
	三八	
	長幡	
旧八女東部	上峰	51
	上妻	
	上忠	
上陽	上陽	20
矢部	矢部	31
星野	星野	42
黒木	木岡	66
	黒毛	
	豊串	
	木原	
	笠原	

12月 定例会

12月定例会を、11月30日から16日までの17日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、5億8827万円を追加する一般会計補正予算、八女市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定案など議案25件で、いずれも原案どおり可決しました。

条例制定・改正のおもなものの

義務教育学校を設立

八女市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

学校教育法の一部改正により、小学校から中学校までの小中一貫教育を行う義務教育学校が新たな学校の種類として規定された。これに伴い、上陽北浜学園小学校と中学校を義務教育学校として、学校名を八女市立上陽北浜学園とするとともに、条例の題名を八女市立学校設置条例と改めるもの。



義務教育学校とは？

小学校6年間、中学校3年間と分かれている学校制度を、義務教育9年間ととらえて小中一貫した教育を行う学校のこと。

問 義務教育学校の利点は、自由度が高いカリキュラムが設定できること、教員同士の情報交換が容易になること、中1ギャップの解消、小学校段階からの教科担任制の導入等である。

答 義務教育学校の利点は、自由度が高いカリキュラムが設定できること、教員同士の情報交換が容易になること、中1ギャップの解消、小学校段階からの教科担任制の導入等である。

問 他地区にも義務教育学校として位置付けられるところがあるのではと推測するが、動きはあるか。

答 義務教育学校が、法的に認められたということを受け、矢部村の方から自主的に勉強会を開きたいとの申し出があり、9月に義務教育学校について、説明会をしている。11月中旬にも、自主的に学習会を開いている。

問 現段階の小学校、中学校の定数を反映する方たちで、教職員定数に変更はない。

答 現段階の小学校、中学校の定数を反映する方たちで、教職員定数に変更はない。

問 現在、小、中学校それぞれに教職員が配置されているが、義務教育学校に位置付けられた場合は教職員の配置はどうか。十分な、目配り、気配りはできるのか。

答 義務教育学校が、法的に認められたということを受け、矢部村の方から自主的に勉強会を開きたいとの申し出があり、9月に義務教育学校について、説明会をしている。11月中旬にも、自主的に学習会を開いている。

問 他地区にも義務教育学校として位置付けられるところがあるのではと推測するが、動きはあるか。

答 義務教育学校が、法的に認められたということを受け、矢部村の方から自主的に勉強会を開きたいとの申し出があり、9月に義務教育学校について、説明会をしている。11月中旬にも、自主的に学習会を開いている。

問 現段階の小学校、中学校の定数を反映する方たちで、教職員定数に変更はない。

答 現段階の小学校、中学校の定数を反映する方たちで、教職員定数に変更はない。

星の文化館・茶の文化館の料金を改定

八女市星の文化館条例・八女市星野茶の文化館条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

当施設のリニューアルに伴い施設利用料金の上限を改定するもの。



茶の文化館（現在リニューアル中）

【提案理由】

問 入館料をとらず、部屋の使用料金を設定するということが、

答 入館料はとらない。館内のリニューアルに伴いサービス内容を充実させている。多くの方に入館していただきたいという考えである。

問 お客様にいろんな活用をしてみようという考え方だと思うが、どのくらいの料金を考えているのか。

答 これまでの実態を十分考慮して設定していきたい。



星の文化館（現在リニューアル中）

医療費控除に特例措置

八女市税条例等の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

本年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、八女市税条例等の一部を改正するもの。

医療費控除の特例の内容

平成30年度から34年度までの各年度分の個人市民税に限り、検診、予防接種等を受けている個人を対象として医療費から転用された医薬品を年間1万2千円を超えて購入した場合、その購入費用（年間10万円を限度）のうち1万2千円を超える額を所得控除できる特例。この特例を受ける場合は、現行の医療費控除の適用は受けられない。

問

医療費控除の特例については、確定申告をしなければならぬ。30年度からとなっているが、いつの申告から該当するのか。

答

制度は、平成29年1月1日から平成33年12月31日までに自己、及び自己と生計を一にする配偶者その他の親族に係る特定成分を含んだ一般用医薬品の購入の対価を支払った場合、その年中に支払った対価額が1万2千円を超える時、その超えた分について上限は8万8千円であるが、その年の総所得から控除する制度である。平成29年1月1日から12月31日までの分を、平成30年に申告をしていただくこととなる。

問

特定健診や、予防接種を受けていることが条件となっているが、証明を

つける必要があるのか。

現在示されていないが、医薬品を購入した領収書は必要となるためとっておいていただくたい。

問

対象医薬品は多数ある。住民が判断して申告しないとけなくなるが、判断の材料はどのようになっているか。

答

厚生労働省のホームページに対象医薬品一覧表が掲載されている。パッケージに共通識別マークで、対象医薬品が判断できるようにする予定である。

農業委員会法改正

八女市農業委員会の委員及び八女市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

【提案理由】

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行により、農業委員会の委員の任命について、市長が市議会の同意を得て任命する制度に変更されることにも、定数の基準が改正された。併せて、農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進委

反対討論

員が新設されたことに伴い、それぞれの定数を定める必要が生じたため、条例を制定するもの。

・農地の番人と位置付けられてきた農業委員会制度が骨抜きになる。法改正で農業者の自治が大きくなる。農業委員会は農民の代表機関としての権限を弱め、行政の下請け機能に変えられてしまう。

扶養手当等を改定

八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問

扶養手当に関してトータルでは八女市としては、増になるのか、減になるのか。

答

配偶者扶養手当1万3000円が経過措置はあるが6500円になる、こどもに対する扶養手当は、6500円が1万円になる。配偶者扶養手当を受給しているケースと、こども扶養手当を受給しているケースを比較すると、配偶者扶養手当を受給しているケースの方が少ないのではないかとと思われる。こどもに対する扶養手当の場合、複数名受給対象のこともあるので、対象者が多くなり、八女市の場合には増額になるのではないかとと思う。

反対討論

・職員の給与は地域の民間給与の状況を的確に反映し決定することとなっている。市内給与所得者水準を尊重、重視すべきである。

賛成討論

・扶養手当廃止の促進は、民間企業の子育て賃金の引き下げの要求になっている。国は賃上げを要請したばかりなのにちぐはぐである。

・公務員は憲法第26条に規定されている労働三権の制約を受けている。国においては人事院、地方自治体においては人事委員会を設置し勧告を行っている。この勧告に基づき労働者と使用者が対等な立場で賃金を決定されている。法に基づいて労使双方の合意により条例の改正をされるものである。

委員会審査

厚生

審査の主なもの

- 平成28年度一般会計補正予算(第4号) (賛成多数で可決)
 - ・社会福祉費(自立支援給付費) 2億5407万円
 - ・児童福祉費(保育所等における業務効率化推進事業補助金) 620万円
 - ・清掃費(衛生センター営繕工事費) 1317万円

保育所等にビデオカメラ設置される

児童福祉費

問 保育所等に、ビデオカメラ設置と管理システムを導入する目的は。

答 ビデオカメラは防犯が目的ではなく、園児の事故防止や事故後の検証に用いるためである。

管理システムは、園児の台帳管理の効率化のために、管理は各保育所等で行う。

自立支援給付費

問 当初想定より給付費が増えたが要因は。

答 身体障がい者補装具が技術改良され単価が30%程アップした。

また、障がい児支援事業の放課後等デイサービス給付費も相当増えたが、要因としては、学校の障がい児に対する認識が高まり、事業所を利用するよう促し

繕工事費

問 老朽化した汚泥ポンプの改修との事だが、今後大きな改修があるのか。

答 黒木町衛生センターは、築30年経過し4～5年後には八女中部衛生組合で一括処理されるので、今後は必要最小限の範囲で行う。



黒木町衛生センター

総務文教

審査の主なもの

- 平成28年度一般会計補正予算(第4号) (全員賛成で可決)
 - ・総務費 200万円(公共灯設置補助金)
- 八女市職員の退職管理に関する条例の制定について (全員賛成で可決)

公共灯設置補助金

LED公共灯について

問 1基あたりの設置費用はいくらか。

答 平均で、1万8千円程度で、工事費込で設置されている。

問 今年度の設置状況は。

答 10月末までに66件の申請があり、防犯灯の設置数は新規が47基、改修が39基、合計で446基である。

問 新規申請の際、場所等の規定はあるのか。

答 特に場所の規定はないが、九州電力の電柱等に共架して設置される場合が多い。

問 県道の交差点は、非常に明るい、市道の交差点は暗い。これについて、安全対策費の中で検討したことはないのか。

答 県道は、道路管理者である県が設置し、市道は市建設課が設置、安全安心対策費は行政区の公共灯設置の補助としての予算しか確保できていない。



電柱に設置された公共灯

人事案件

副市長(2名)の選任に
同意しました。



中園 昌秀氏



鎌田 久義氏

建設経済

審査の主なもの

○平成28年度一般会計補正予算(第4号)

(全員賛成で可決)

- ・農業振興指定管理施設営繕工事費 538万円
- ・中山間地域所得向上対策事業負担金 2370万円
- ・市道補修工事費 1400万円

○八女市農業委員会の委員及び八女市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

(賛成多数で可決)

どうなるのか農業委員会は

問 農業委員会の業務は農地利用の最適化の推進とされ、公選制をやめて市長が議会の同意を得て任命、建議の権利さえなくなった。これでは、農地の番人ではなく、行政の下請け機関になるのでは。

答 農業を取り巻く環境や選挙のあり方などの変化、建議については、条文はな

くなつたが、出来ること聞いてみる。

問 中山間地域所得向上対策事業負担金とはどんな事業でどこを予定しているのか。

答 新設の事業で、農山漁村地域整備交付金で予算確保ができなかった分をこの事業で補つもの。

予定としては立花の山や選挙のあり方などの変化、下地区でボーリング、貯水池、送水管等の工事を行う。



山下地区水門工事の様子



一般質問

月 日	質問者	質問事項
12月5日 (月)	中島 信二	1 地域に信頼される学校づくりとまちづくりについて
	橋本 正敏	1 動物霊園(ペット霊園)の設置及び管理に関する条例について
	小川 栄一	1 支所の事務運営について
		2 教員による学童・生徒へのハラスメントについて
	森 茂生	1 税金の滞納処分について
12月6日 (火)	高橋 信広	1 中心市街地について
		2 企業版ふるさと納税について
		3 スポーツ・健康づくり都市宣言について
	牛島 孝之	1 八女市の農業・林業活性化のために具体策はあるのか 特に後継者育成策は喫緊の課題ではないのか
		2 母子生活支援施設「ひまわり園」の今後のあり方について八女市の考えは
		3 教育問題について
	萩尾 洋	1 安心・安全な通学路の確保について
		2 移住定住促進について
	石橋 義博	1 市街の空地空家対策及び冠水被害対策
		2 企業誘致の今後の進展と対策
12月7日 (水)	三角 真弓	1 児童を取り巻く環境について
		2 自殺対策について
	松崎 辰義	1 子どもの貧困対策について
		2 ふるさと納税について
		3 環境問題について
	角田 恵一	1 安心安全なまちづくりを

コミュニティ・スクールの進捗状況と今後の計画は



中島 信二

答 長峰小、上妻小の促進事業を進め、徐々に導入を図っていく



問 学校支援体制づくりとして学校教育と社会教育の学社連携、融合という教育活動がコミュニティ・スクール推進に必要不可欠と思うが。

答 保護者や地域の皆さんの意見を反映する学校評議員制度を設置し、取り組んでいる。交通指導や色々な学校行事への積極的な支援等、学校と地域が連携した取り組みがなされている。

問 地域振興計画は地域のまちづくり、地方創生には重要な事業と思うが要はどう継続して発展していくかの見極めと思うが今後はどのように発展させていくのか。

答 地域振興計画策定については地域の方々が自分の地域をよく理解することが重要、地域で自発的に行われる事業について行政は支えていきたい。

問 学校教育の所管と連携

答 所管は市長部局にあるが教育委員会の方が一般市民には理解されやすいのでは。また、両部局の連携はうまくいっているのか。

問 八女市において所管する部局はどこか。

答 動物の飼養及び収容に関することは環境課が所管する。

問 仮に、ペット霊園が放置されたり、環境に悪影響を及ぼした場合どうするか。

答 現在、ペットの焼骨は、廃棄物処理法の廃棄物ではない。しかし、これが大量に放置、廃棄された場合、廃棄物として取り扱われることがあり、廃棄物処理法違反となり、県の監督権限下になる。

問 八女市は自然豊かで歴史的文化財も多い。有

答 現在、ペットの焼骨は、名農産物や景勝地も多数ある。ペット霊園が近くにあることで風評被害が懸念されるが、生活環境保全上、景観配慮等々どれほど支障があるか、慎重な判断が必要である。

問 佐賀市では「ペット霊園の設置等に関する要綱」、大阪の箕面市では「ペット霊園の設置の許可等に関する条例」、プラズ「景観計画・都市景観条例」がある。八女市も制定してはどうか。

答 現在制度化している市町村は少なく、土地の私有権等法的問題もあり、慎重に検討していく。



橋本 正敏

ペット霊園事業及び動物の死体に関する法律、条例等はあるのか

答 国に該当する法律はなく、八女市における条例もない



市内の建設予定地

6年前の教師による体罰が、今年の夏になって表に出た。この原因は



小川 栄一

答 学校長の判断で、市教育委員会へ報告しなかった



問 保護者から、「私の子どもだけではなく、同じ先生による体罰で悩んでいる子どもが複数出ています。」との相談を受けた。歯止め出来ないか。

答 相談窓口を周知するとか情報が上がってくる手だてをとる必要があると思う。教育委員会としては、学校長の指導をし、直ちに報告する、現場で抱え込まず校内のコミュニケーション能力を高める、報告・連絡・相談をするよう研修が必要だ。

問 校長に任せていいのか。

答 校長の判断は体罰ではなかった。しかし、いじめる様徹底的に指導する。

問 校長に任せたいのか。

答 校長の判断は体罰ではなかった。しかし、いじめる様徹底的に指導する。

税金の滞納処分について



森 茂生

問 財産の差押えは平成26年度112件が27年度は約5倍の524件、搜索は2件が38件と急増している。搜索は県、市職員合計8〜9名で行い、押収した物は130万円滞納している人の場合ガラス小鉢セット1個。140万円滞納している人の場合サンングラス1個。その他ほとんど財産的価値の無い物ばかり。それほど押収する物が無かったのが11件もある。

答 この様な搜索が果たして意味をなすのか。

問 2〜3百万円も滞納している方にそれだけの物を差押えようとは思っていない。一番の目的は面談すること。

答 小銭まで差押えているが、民事執行法は66万円、破産法は99万円まで現金の差押えは出来ない。なぜならその人にも生活

問 小銭まで差押えているが、民事執行法は66万円、破産法は99万円まで現金の差押えは出来ない。なぜならその人にも生活

答 納税緩和策の徴収猶予、換価の猶予はゼロ件



市は令状なしに搜索、押収を行っている。その根拠は

答

自力執行権があるため令状なしで搜索し、差押えが出来る

八女市の中心市街地はどのエリアを指すのか

答 福島地区を中心市街地と位置づけている



高橋 信広



八女市中心市街地の一角

上がることで、税金は増えることになる。

問 中心市街地の活性化と市庁舎建設の位置づけについての考えは。

答 行政機能は中心地域に考えるのが当然と思うが、これから幅広く意見を聴きながら検討していくことになる。

スポーツ・健康づくり都市宣言について

問 市民一人ひとりにどのようにして宣言の重みと内容を浸透させるのか。

答 宣言文を本庁、各支所に設置し、市広報誌の掲載や定期的なFM八女での放送などを継続することで市民へ広げていきたい。

問 「積極的に健康診査を受ける」ための来年度の考えと施策は。

答 今年度行っていることに加え、行政区長会をはじめ商工会議所、各種団体への啓発を依頼したいと考えている。未受診者対策として、過去の受診状況を把握し、その人に応じた勧奨通知を行っていく。

問 中心市街地の活性化によって税収面で効果は上がるのか。

答 固定資産税は、土地の動きが起これば地価が上がり、増収に繋がります。住民税も事業者の所得が



牛島 孝之

県立の森林大学校を八女市に誘致することはできないか

答 これまでも県に要望しており引き続き要望したい

農業活性化について

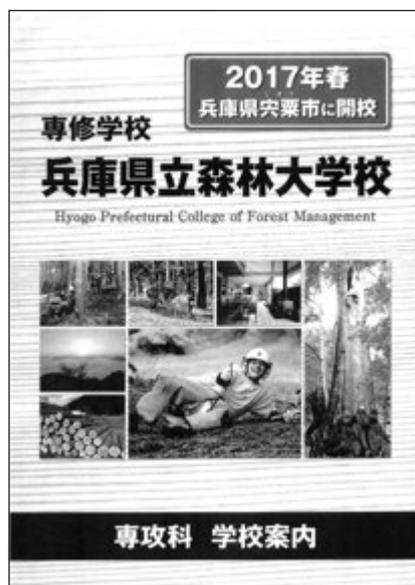
問 畦畔コンクリート塗とかの補助金については今後どのように考えているのか。

答 補助金の一本化に向けた検討を来年に向けて進めていきたい。

「八女市母子支援施設、ひまわり園」の今後について

問 今後存続に当たって子育て短期支援事業、宿泊を使った一時預かりをあわせ持った施設を残してほしいとの答申の考えは。

答 施設をどうするかという点を前提に検討する必要があるので。



八女市の教育問題について

問 英語教育の必要性と日本語教育について。

答 英語教育の充実により美しい日本語を身につけさせたい。

問 日本語をしっかりと教えて、英語教育をすべきではないのか。

答 英語教育を充実させていくことが、愚民化にはつながらないし、日本の国力を地におとしめることではないと思う。

安心・安全な通学路を実現させるためのポイントは



萩尾 洋

答 学校が実地調査し、警察・保護者及び地域関係者との連携が重要である



通学の様子

問 市が行った通学路の安全策は。

答 警察署・国及び県の道路管理者と現地確認をし、改善へ向けての協議を行う。緊急度・優先度を考慮しながら対策を講じている。

問 今後の安心・安全確保の施策は。

答 昨年、八女市通学路安全推進会議を設立し、道路管理者とも協議し、従来から取り組んでいる八女市PTA連合会の要望にも効果的な対策が講じられるようになった。

問 スクールバス運行範囲の拡大は考えられないか。

答 学校再編等で統合された場合等により、必要性が生じてから検討したい。

問 学校周辺部は結構距離もある。子育て世代が定住する施策として重要ではないか。

答 スクールバス運行に関しては、学校統合関係が主な要因である。

移住定住促進について

問 移住定住総合戦略の中身は。

答 毎年PDCA、中身をチェックし、進捗状況を確認している。

問 市有地の活用は考えられないのか。

答 将来的にも不用な財産については有効な活用を図りたい。



石橋 義博

問 市街地における空き家空き地を含む街作り対策はどう取り組むのか。

答 さまざまな定住支援、施策などとともに道路や公園など都市施設の整備を行い、住みよい街作りに向けて取り組んでいく。また、冠水対策については福島地区京町の道路など市街地への雨水流入防止、河川のしゅんせつ、護岸工事、井堰の適正管理及び改修工事などの対策に取り組んでいる。

問 企業誘致の今後の進展と対策について。

答 前古賀工業団地予定地については土地開発公社に用地取得と造成事業をお願いし、工事を進めている。

**市街地における空き家
空き地対策並びに冠水
被害対策について**

答

今後は慎重かつ積極的に取り組んでいきたい

問 具体的にはどれくらいの間を考えているか。

答 あくまでも予定ではあるが1年を目途に予定をしている。



児童を取り巻く環境（いじめ・虐待・貧困・自殺・不登校等）の改善は



三角 真弓

答 関係職員のスキルアップや相談体制の充実を図っていく

問 今年上半期に児童相談所に通告された18歳未満の児童虐待は728人増の2万4511人に上り5年連続増加。本市における家庭児童相談室への相談も養護相談が実件数の中約43%、幼児虐待がその中約40%を占める。家庭児童相談室は延べ相談件数は年間3千件を超える。今後、地域性を配慮した職員の配置と、相談内容の多様性に配慮するため正規の職員の配置を考慮してほしい。

答 来年度に向けて嘱託職員の1名増員を予算措置しよう。

問 今後夜間保育をどのように考えていくのか。

答 保護者の声を聴き検討しよう。

問 改正自殺対策基本法が本年4月1日から施行された。10代後半から30代の死因第1位が自殺である。本市の国民健康保険料の15%は精神疾患である。地域に合った自殺対策計画を早期につくる必要があるのではないかと考える。生きていることの包括的な支援としての環境の整備の充実を図る。

※ひきこもりに対する居場所づくりが必要と思う。



問 現在3か所で子ども食堂が行われているが、学習支援を行っているのは1か所である。

子どもの学習支援と居場所づくりの観点から他の2か所でも学習支援が出来ないのか。

答 スタッフの確保が難しいと聞けが、検討する必要性はあると思う。

問 準要保護の新入学児童生徒学用品費については、中学1年生は3月に支給される計画と聞いたが、小学校についても検討されるのか。

答 八女市が行っている入学祝い金との関連もあるので研究したい。



松崎 辰義

子どもの貧困について準要保護の基準は、要綱ではなく、条例で定めるべきではないのか

答

近隣自治体も含めたところで、協議、検討をしたい



授業風景

問 準要保護については、生活保護の1.3倍と決められているが、どこで、誰が決めるのか。

答 教育委員会、市長部局含めて方針を決定している。

答 研究はした。かなりの財源が必要になるのと、入学祝い金等も含めて考えていきたい。

問 現在、県内では7つの自治体が1.5倍で行っている。

※子どもの貧困対策の中で検討するよう要請した。

庁舎建設について、安全・安心の観点からどう考えるのか

答 平成32年を目標に整備する方向で検討に着手する



角 田 恵 一



八女市庁舎

問 現在の庁舎を建て替えるならば、起債・補助金等に影響はあるのか。

答 起債の繰り上げ償還補助金返還などの法的な縛りはない。

問 地震・豪雨など有事における課題は把握しているのか。

答 地震については、災害時に拠点となる庁舎の耐震改修の検討が必要である。豪雨により南庁舎地下への雨水侵入による被害が懸念される。停電が長期化した時の対応も、電算システムを含め課題である。

問 業務継続計画の策定

状況は。

答 庁舎が被災し、資源

制限下であつても適切な業務を行うため作成する計画であるが、現在策定していない。平成29年度策

問 仮に建て替えるならどのような財源が考えられるか。

答 公共施設整備基金合併推進債、県の市町村合併支援特別交付金等が想定される。

問 整備に対し、今後の進め方は。

答 ささまざまな角度から検討を加え、スピードをもって進めていく。

農政連八女支部(黒木地区)より議場を視察されました



町村議会広報研修会に参加

議会だより編集委員の名が、11月22日に開催された町村議会広報研修会(福岡市)に参加した。議会広報アンケート調査の結果では、議会だよりから議会の情報を得ておられる方が大半であり、改めて議会だよりの重要性を感じた。議会が何をしているか、何を伝えたいのかなどをわかりやすく広報していくために、みなさまの知りたいニーズの研究を重ね、議会だより編集委員会は、更に努力していく必要がある。

11月28日、福岡県農政連八女支部黒木地区より、議場の視察をされました。

議場では、実際に、議席に座っていただき、議会の雰囲気を経験していただきました。

問 本会議以外の会議もこの議場でなされていますか。

答 全員協議会、委員会等の会議は、別室に会議室を設けています。

問 議会を傍聴するには、事前申込みが必要ですか。

答 申込みは必要ありません。当日に、お越しいただければ結構です。

お気軽にお越しください



地方の声を国政へ

12月定例会に提出された「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める請願」は、全員賛成で採択し、意見書案が委員会から提出され全員賛成で可決しました。可決した意見書は内閣総理大臣ほか関係大臣に送付しました

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

請願者 西口 広貴

紹介議員 三角 真弓

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしています。例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年12月16日

福岡県八女市議会

調査報告

ペーパーレス化で経費削減と情報効率化をめざしたい 議会運営委員会で福岡県嘉麻市と兵庫県西宮市を調査

昨年の11月8日と9日に、福岡県嘉麻市議会と兵庫県西宮市議会を調査した。

今回、特に参考になった嘉麻市議会のペーパーレス化事業の内容を報告する。

議案や資料、各種計画などの情報をタブレット端末でチェック確認することができる。

議会活動の他、地域の活動や現地説明などに有効利用されている。議会事務局との連絡調整やスケジュール確認、市当局との情報共有などのメリットがある。

議会関係の資料はかなりの量が必要である。紙資源を削減し、また、資料作成から印刷製本配付までの作業「コスト」も削減が見込まれる。

議会活性化の方策の一つとして実現化に向けて検討していきたい。

膨大な議会資料をすべて取り込んだタブレット端末だけを持つ議会に出席し、市役所の各課で調整をし、地元で報告会を行っている先進的な市議会がある。

今回、実際にタブレット端末を操作しその実用性を体感してきた。

議会サイドと市当局の幹部職員との情報共有・情報交換にも大いに貢献するツールである。導入を検討していきたいと思う。

八女市にどう生かす



調査報告

地域の特色を生かした

まちづくりを学ぶ

島根県海士町 出雲市 浜田市

総務文教常任委員会

10月17日～19日

あまちょう 海士町

「ないものはない」
離島からの挑戦



島根県海士町での研修の様子

平成16年に島の生き残り
りをかけた「海士町自立
促進プラン」を策定し、
町長給与の2分の1カット
を始めとする大胆な行財
政改革を実施している。

一方で、イターンの新
しい発想を取り入れながら
地域資源を生かした新た
な産業創出及び人材育成
の取組みを展開している。
結果、島に雇用の場がう

出雲市

コミュニティ・スクール
について

まれ、若いイターンの定
住が増加し活気を帯びて
いる。また、存続の危機に
直面していた島唯一の高校
では、生徒総数が大幅に
回復し島外からの入学生
も増加している。

出雲市では「地域学校連
管理委員会」と称し、平成18
年度に全国で初めて全ての
公立小中学校に設置して
いる。地域・学校・家庭の三
者が一体となって学校運営
や児童生徒の健全育成に
取り組む、地域に開かれた
特色ある学校づくりを推
進することが設置目的であ
る。

導入により、学校の応援
団として地域ぐるみで学校
を支援する体制ができたこ
とが成果としてあげられ
る。一方で、事務局を担う
学校では少なからず業務
が増加しており、役員交代
により継続的な取組みがで
きにくい場合があるなど課
題も残る。

浜田市

シングルペアレント
移住支援事業について

浜田市では、当市への移
住を希望するひとり親家
庭を対象に、介護業務に携
わることを条件として1年
間の定住支援を行う取組
みを平成27年度からスター
ト。養育費や家賃の補助、
中古車の無償提供など支
援内容は手厚い。また、過
疎高齢化が進む中、介護の
人材確保は、急務の課題で
あり、定住人口増加と合わ
せて課題解決を図る先進
的な取組みである。地方創
生としてはこれまで見落と
されがちだった着眼点であ
り、地方に広がる可能性を
見出した。

八女市にどう生かす

八女市の広い地形の中で、個々の地域や集落がそ
れぞれの特徴や特色を生かした「コミュニティ社会」の確
立、まちづくりを進める必要がある。

また、「コミュニティ・スクール」の推進については、本
来の機能を果たした組織となるように個々の協議会
の活発な意見の交換が重要である。

さらに、過疎化が進む地域では、高齢化と介護を
切り離すことができない。介護の人材確保、ひとり
親家庭の支援、定住人口増加と合わせて課題解決で
きるのか検討の必要がある。

釧路市

生活保護者と生活貧困者の自立支援とは

釧路市は、平成13年の炭鉱閉山により、生活保護世帯が年々増加しているという背景もあって、「生活自立支援プログラム」が構築された。具体的には、それぞれの年齢や能力に応じた段階的なプログラムを準備し、ボランティアから就労までの多様な働き方のメニューにより、自立につなげている。生活保護者が、平成24年の約1万人から平成28年8月現在1238名から相談があり、成果を上げている。

帯広市

市民・地元企業とともに つくる健康づくりとは

厚生労働省が主催している「スマート・ライフ・プロジェクト」に参加し、地元企業と連携を図り、健康器具の貸出しや健康づくり講座などの事業に積極的に取り組んでいる。簡単な体操「オビロビ」を開発し、生活習慣病予防を目的に、市民各種団体、企業に広めている。楽しみながら健康づくりができる手法には好感が持てた。

調査報告

社会とつながり生きがい

北海道釧路市・帯広市・芽室町 10月26日～28日 厚生常任委員会

芽室町

障がいのある人“だからこそ”出来ることとは



「(株)九神ファームめむろ嵐山工場」での研修の様子

芽室町長と柳クック・チャムの障がい者雇用に対する共通した思いが「プロジェクトめむろ」を立ち上げ、柳九神ファームめむろ設立に至った。事業内容は、3ヘクタールの畑でジャガイモやカボチャの生産、その食品加工が中心で、12名の障がい者が働き、実働6・5時間、賃金は11万5千円と、障がい者の家族に感謝されている。障がい者の皆さんの働きぶりには、真剣さと集中力が伝わり感動を覚えるものだった。

八女市にどう生かす

研修を受けたいずれの事業も、難しい課題に対して何としても成し遂げようという強い意志で取り組んでいる。特に、釧路市の生活困窮者支援や柳九神ファームめむろの障がい者雇用に対する挑戦と実践には、たいへん感銘を受けた。我々も、同じ精神をもって、それぞれの先進事例を参考に、横展開できることはもちろん、ヒントにして独自の事業を実践につなげることも重要なことと考えている。

12月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対・－は議長職のため採決には加わりません】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二		
報告第17号	報告事項のため、採決はありません																											
報告第18号	報告事項のため、採決はありません																											
議案第76号	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－	
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－	
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第90号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	－
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
議案第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
請願第3号	継続審査																											
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
陳情第3号	建設経済常任委員会へ送付されました																											
委員会提出議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	

12月定例会で審議した議案の結果

報告第17号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第18号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
議案第76号	特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第77号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第78号	八女市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第79号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第80号	八女市星の文化館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第81号	八女市星野茶の文化館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第82号	八女市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第83号	八女市職員の退職管理に関する条例の制定について	可決
議案第84号	八女市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決
議案第85号	指定管理者の指定について(八女市黒木地域交流センター)	可決
議案第86号	指定管理者の指定について(八女市星野製茶技術研修工場)	可決
議案第87号	指定管理者の指定について(八女市茶仕上加工施設)	可決
議案第88号	八女中部衛生事務組合の共同処理する事務の変更及び八女中部衛生事務組合理約の変更について	可決
議案第89号	八女西部広域事務組合からの脱退に伴う財産処分について	可決
議案第90号	平成28年度八女市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第91号	平成28年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第92号	平成28年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第93号	平成28年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第94号	平成28年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第95号	平成28年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第96号	平成28年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第97号	平成28年度八女市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第98号	副市長の選任について(中園昌秀氏)	同意
議案第99号	副市長の選任について(鎌田久義氏)	同意
請願第3号	「ペット霊園設置の許可等に関する条例」の制定に関する請願	閉会中の 継続審査
請願第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める請願	採択
陳情第3号	中の井川の河川流水能力の回復対策工事の要望に関する陳情	委員会送付
委員会提出議案第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	可決

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp



～12月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。
(原文のまま記載)

- ◆発言、答弁をはっきり言ってほしい、わかりにくい。校内体罰の問題、何となく結末がはっきりしませんでした。(男性 80歳代)
- ◆議会の傍聴回数が少なくて勉強不足であるため、これからの参加を増やして勉強していきたい。今後、意見要望を出していきたい。(男性 60歳代)
- ◆山間部の少子化対策をもっと真剣に取り組むべき。八女市は企業誘致をどんどん進めるべき。(男性 40歳代)

次回定例会 3月1日(水)予定 午前10時～立花庁舎議場

この町では、「中学校卒業まで医療費の無償化」

今、どこの自治体も人口減少が大きな問題となつています。

八女市もご多分に洩れず頭の痛い課題です。

定住対策、交流人口を増やす対策とやってはいるものの、決め手とはなっていないません。

合併から5年、約5千人が減りました。人口が減少しないための出生率は2・0なんです。八女市は1・4なんです。

あの記事が目止まりしました。人口が増えている自治体の話です。

それは、島根県邑南町(おのなん)といつて、中国山脈沿いの広島との県境にある町です。人口約1万1千人、高齢化率42・7%、面積は419km²で8割が森林といつ、八女市とよく似た地形です。

編集後記

や「第二子以降の保育料の無料化」をはじめとして、徹底した子育て支援を行うてあり、出生率も2・65と高く、「日本一の子育て村」を目指しているそうです。

八女市も子育て支援は充実しつつあるものの、人口が増えるほどではなく、さらなる充実が望まれるところではなんでしょうか。

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一
副委員長 堤 康幸
委員 松崎 辰義
委員 大坪 久美子
委員 中島 信二
委員 服部 良一
委員 伊井 渡
委員 高橋 正敏
委員 橋本 敏

